

川村ひろあき活動レポート

2023.03.19 Vol.211

川村ひろあき事務所：千葉市花見川区こてはし台3-13-4

いざ、県政へ

◎はじめに．．．

春爛漫のこの頃ですが、如何お過ごしでしょうか。日頃より格別のご厚誼・ご厚情を賜っておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年第1回千葉市議会定例会は2月16日に開会し、令和5年度千葉市当初予算やこどもの医療費を助成する条例の一部改正、教育長等選任の人事案件の市長提出の56議案と議員提出の発議を審議し、3月8日に閉会しました。

千葉市役所新庁舎が完成に伴い、現在の議場で最後の開催となり、私にとっても最後の議会となった今定例会に、議長として臨めたことは感慨深いものがありました。これまで千葉市議会で学んだことを次のステップでも大いに活かしていこうと思います。

これからも変わらぬご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



定例会閉会の議長挨拶の最後での万歳三唱(3/8)



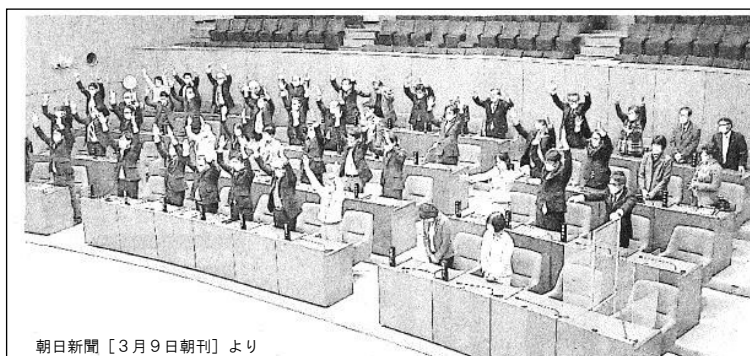
議場さよならコンサート(2/16)



新庁舎竣工式でのテープカット(2/18)



定例会閉会の議長挨拶(3/8)



朝日新聞【3月9日朝刊】より

■千葉市議会議場に別れ
千葉市議会は8日、4830億円の一般会計当初予算案など計58議案を原案通り可決・同意し、閉会した。市役所建て替わりに伴い、議場も4月に移転するため、現在の議場での議会はこの日で最後となった。
現議場は今の市庁舎と同じ1970年に使用を開始した。閉会にあたり川村博章議長は「市政の重要な案件の決定の場となってきた。新議場でも市民の声を傾け市政の発展を」とあいさつ。議員たちは議場で万歳をして別れを惜しんだ。

◎令和5年度千葉市当初予算のあらまし

令和5年度千葉市当初予算については既に新聞報道等で明らかになっておりますが次のとおり原案可決されました。

一般会計が前年度比1.1%減の総額4830億円。

一般会計歳入のうち、市税収入は2087億円で前年度比2.9%増。給与所得の増加など個人市民税が増額となることなどによります。また市債発行予算額は450億5700万円で前年度比28.8%減。市役所新庁舎が完成し庁舎整備債が減額となる他、臨時財政対策債が減額となることなどによります。

歳入に占める自主財源は2547億3700万円。歳入総額に対して52.7%と前年度に比べ0.3%増です。

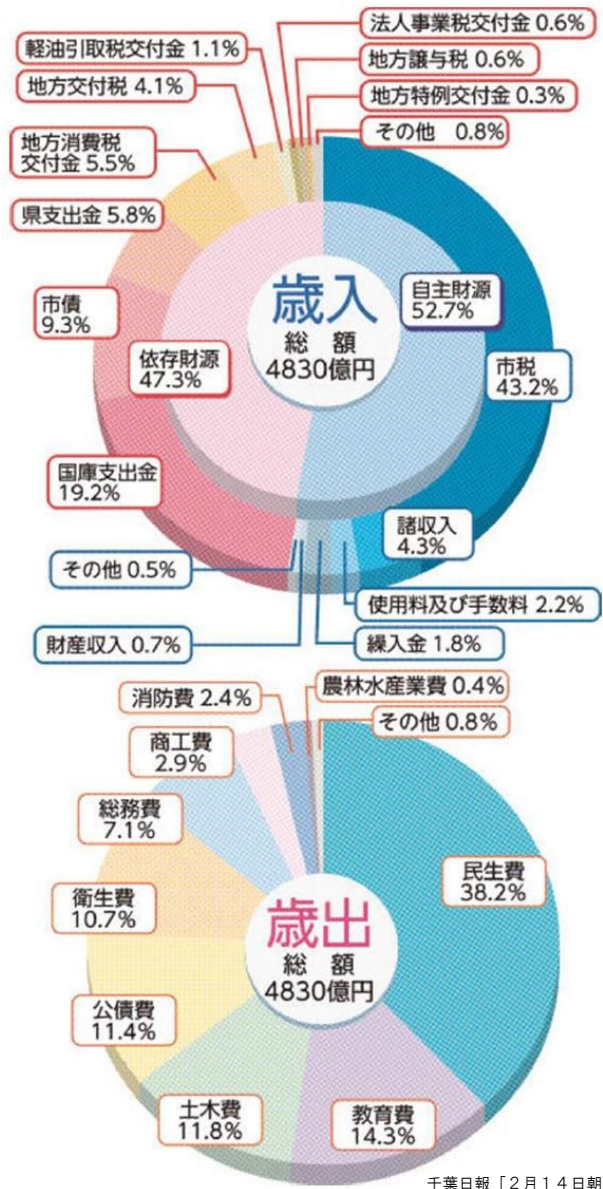
一般会計歳出では子育て、福祉等の民生費が3.8%増の1844億600万円。小中学校等の教育費が3.2%減の690億8900万円。道路整備・都市整備等の土木費が2300万円減とほぼ横ばいで(0.0%)の570億2900万円。公債費が7.2%増の548億4700万円。健康・医療、新型コロナウイルス感染症対策等の衛生費が4.0%増の515億

1700万円。総務費が新庁舎等の整備が終わったことから25.9%減の342億9800万円。産業振興等の商工費が21.4%減の138億6200万円。消防費が3.3%増の118億900万円などの構成となっております。

また、特別会計(17会計：企業会計を含む)は前年度比1.2%減の4360億6300万円で、全会計を合わせた予算規模は前年度に比べ104億9000万円、1.1%減の9190億6300万円となっております。

令和5年度予算は、前年度比減ではあるものの過去2番目の規模の予算で、一般財源総額を確保し、地域社会のデジタル化の推進、地域の脱炭素化の推進、こども・子育て支援の強化などに注力を注いだ予算となりました。

また、年齢等問わず各種相談を包括的に受け適切な支援に繋げる「福祉まるごとサポートセンター」が千葉中央コミュニティセンターに設置されることになりました。



令和5年度千葉市一般会計当初予算案の歳入・歳出

◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒262-0005

千葉市花見川区こてはし台3-13-4

TEL : 043-250-1021

FAX : 043-250-0071